

キャラクター名  プレイヤー名   
 Eddy J. Hartmann (エディ=ヨット=ハートマン)

シンドローム	ブラム=ストーカー		ワークス	ネゴシエーター	カヴァー	弁護士
	ソラリス					
オプション			年齢	28	性別	男性
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	39	%
出自	名家の生まれ	経験	盟友	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	3	1	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	3		RC	2		交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	3
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
出自/家族(父)	P 憧憬	N 猜疑心			
経験/盟友	P 好奇心	N 憐憫			
懸念/鬼神(アルフレッド・J・コードウェル)	P 同情	N 憎悪			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	10	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
CR:ブラム=ストーカー	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限値7)								
忌まわしき砲弾	3	3	シド・ロム	-	選択(範囲)	対決	従者専用	
効果: 組み合わせ攻撃対象の範囲を選択。1シーンにLV回まで使用できる								
かりそめの狩人	5	3	メジャー	武器	-	対決	従者専用	
効果: 従者の射撃攻撃エフェクト。このエフェクトを組み合わせた射撃攻撃のダイスを+LV個する								
赤色の従者	5	5	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 従者はすべて能力値3、最大HPが[LV×5+10]となる								
声なき子ども	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 1シーンに作り出せる従者数を+LVする。このエフェクトは神職率によるレベルアップ制限を受けない								
患者の軍団	3	5	-	至近	選択(範囲)	自動	100	
効果: 赤色の従者で作り出す従者の数を+LVする								
患者の兵装	5	-	常時	至近	自身	自動	従者専用	
効果: 従者はこのエフェクトによるアイテムは特別に装備、使用できる								
ポイズンフォッグ	1	2	メジャー	至近	選択(範囲)	-	-	
効果: 体内で生成した物質を気体として全身から発散、周囲に散布。組み合わせたエフェクトを至近、対象を選択(範囲)に変更。このエフェクトは1シナリオにLV回まで使用できる								
痛みの水	5	2	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果: [攻撃力:+LV]の射撃攻撃を行う。このエフェクトを組み合わせた攻撃で、対象に1点でもダメージを与えた場合、さらに対象にバッドステータス放心を与える。								
日常の代行者	1	-	常時	至近	自身	-	-	
効果: 自分の影武者のエフェクト。戦闘に参加することはできない								
隠し味	1	-	メジャー	至近	効果参照	-	-	
効果: 食事の味を向上させるエフェクト								
竹馬の友	1	-	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果: 対象の認識を攪乱し、信頼を得るエフェクト								
効果:								

名門貴族の生まれ。親はヨーロッパと日本に会社を持っており、日本の会社を任されている。学生時代、晩餐会に招かれたときに異様な食事を出されたがそれを拒否。しかし、直後、酷い空腹感に襲われ口にしてしまった肉から症状が感染した。オーヴァードの能力は業務面や人間関係で発揮され、業績が好調だったときにUGNの関係者に声をかけられる。以来、ビジネスライクな関係をUGNと築いている。コードウェル博士の言葉に少し引っかけを覚えたが…何故だろう？社長なので基本的に自分からは動かない。戦闘は従者任せ(まあそれも自分の血液なのだけれど)できれば矢面に立つのは他の人間に任せたく、自分は後方支援にまわりたいと思っているがまったく支援として使えないエフェクトばかりである。パンデミックな攻撃方法が目立つのは、高貴な自分すら感染したこの力に庶民が感染してないのは我慢ならないから。なんていう子供っぽい理由もあったりなかったり。いやでも実際、安全圏からパイオハザードするのが生還のコツなのではないだろうか。盟友はMakiさんのPCらしい。苦勞性だなど上から目線で憐憫を覚えている。部下の面倒見は良い。過去のトラウマから、基本的に料理は自分でする。

チャット/パレット  
 -----  
 //ダイス増加=0  
 //侵蝕値によるダイス増加=0  
 メジャー  
 《赤色の従者》+《声なき子ども》+《患者の軍団》+《患者の兵装》  
 【難易度:自動成功/対象:自身/射程:至近/制限:侵食率100%↑】侵食率5+5  
 ▼赤色の従者(Lv.5)  
 ・従者をあなたと同じエンゲージに1体作り出す